広報 Ibaraki Public Information
いばらき
2025年（令和７年）
２月１日　発行
2
No.1122
February 2025

◆編集・発行
茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029－292－1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口
住民基本台帳
令和６年12月末現在
男　15,317人
女　15,206人
総人口　30,523人
世帯数　13,615世帯

◆茨城町民憲章
1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花　桜
◆町の木　梅
◆町の鳥　うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎0800－800－8848
（通話料無料）
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!
●町公式ホームページ
https://www.town.ibaraki.lg.jp/
●町公式Ｘ（旧ツイッター）
https://twitter.com/IbarakiTownMati/
●町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
●町公式ライン
https://page.line.me/?accountId=ibarakitown

メス　　オス

里山に育む生きものたち

No.151　キンクロハジロ

学名　*Aythya fuligula*

写真・文　仲田　立

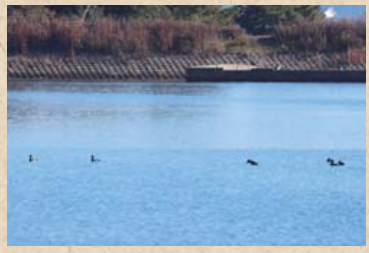
▼キンクロハジロ（金黒羽白）とは

名前の由来は、金色に見える黄色い虹彩と、雄の黒と白の羽色からです。ユーラシアに広く分布し、冬鳥として全国に渡来し、茨城県でも普通にみられます。湖沼、ため池、河川の淡水から汽水域に生息します。

キンクロハジロは、スズガモ、ホシハジロと同じ潜水採餌ガモの仲間で羽色も似ています。頭の後ろに寝癖が付いたような冠羽があります。雌は、スズガモの雌と色が似ているうえに、くちばしの基部が白いというスズガモの特徴を持つ個体もいて、区別することは難しいです。令和６年11月号掲載「スズガモ」の写真と見比べてみてください。

▼キンクロハジロの数

キンクロハジロは、涸沼で４番目に多いカモ類で、ここ３年は12月から２月の多い時に150羽ほど確認できました。涸沼では、主に湖岸近くの水面上で小さな群れが見られますが、スズガモの群れに混じることもあります。


キンクロハジロの群れ
（網掛地内撮影）

▼カモの換羽の特徴

大半の鳥は年２回、古い羽毛が抜け、新しく生え換わります。これを換羽と言います。雄は繁殖期に派手な羽色になり、非繁殖期に地味な色になることが多いです。

カモの仲間はほかの鳥と違い、春を待たずに冬に繁殖羽になります。雄は、８月から10月頃にエクリプス（非繁殖羽）と言う、地味な羽色になることが多いです。そして真冬になると雌にアピールするため、派手な目立つ羽色になります。

キンクロハジロのオス
（エクリプス）

それに比べて、カモの仲間のほとんどの雌は、一年中地味な羽色です。これは子育ての時などに捕食者から狙われにくくなり、より安全になるためと考えられています。

ちびっ子アート　ふじ保育園

「おひめさまになったわたし」
おぎや　あゆ（６歳）

「そらまめくんのベッド」
やまざき　ひなみ（５歳）

再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています